

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<b>試料・情報の利用目的及び利用方法</b>	<b>研究の名称</b> 頭頸部放射線治療における熱可塑性シェル固定システムの違いによる患者固定精度評価に関する研究
	<b>研究の対象</b> 2022年4月～2026年3月に当院で頭頸部放射線治療を受けられた方 90名
	<b>研究の目的</b> 頭部や頭頸部の放射線治療では、一般的に治療部位の保持のために熱可塑性シェルによる固定が行われます。しかし、それでも内部で数ミリの誤差が生じることが報告されています。特に肩部固定の再現性は治療効果に影響を与える要因の一つです。 今回、新しく導入する頭頸部固定システムは従来までの固定方法に比べて肩部の固定精度に優れる特徴や作成方法が簡便な利点を備えています。 そこで、本研究では新しく導入した頭頸部固定システムと従来までの固定方法を比較して、患者固定精度にどの程度違いがあるか評価することを目的としています。
	<b>研究の期間</b> 研究機関の長による実施許可日から(西暦)2026年3月まで
	<b>他の機関に提供する場合には、その方法</b> この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
<b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b>	<b>研究に使用する試料・情報</b> 情報：毎日の放射線治療時の位置確認を行うために撮影される2方向(正面および側面)X線撮影やコーンビームCT撮影により得られた画像データ 等

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p><b>利用する者の範囲</b></p>	<p>機関名および責任者名  浜松医科大学 放射線腫瘍学講座 中村和正</p>
<p><b>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</b></p>	<p>浜松医科大学 放射線腫瘍学講座 中村和正</p>
<p><b>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</b></p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p><b>資料の入手または閲覧</b></p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p><b>情報の開示</b></p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学  部署名： 医学部附属病院 放射線部  担当者： 主任診療放射線技師 坂本 昌隆</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

TEL : 053-435-2784 (放射線治療室)

E-mail : skmt@hama-med.ac.jp